

NRU-east

National Railway Workers' Union

No.844 2022年
1月1日

国鉄労働組合東日本本部
港区新橋5-15-5 交通ビル7F
発行責任者 伊藤 隆夫
編集責任者 常盤 達雄

エルダーも
プロパー若手も
ベテランも
みんなで取り組む
組織拡大



写真提供：立川運転区分会 大門さん

不安・不満を受け止める最初の窓口となり
労働組合の必要性を訴えよう！

執行委員長

伊藤 隆夫



今年も、コロナ禍の中で新年を迎えました。最近の感染状況は、ワクチンの接種率が向上し日常化した感染防止予防の取組みにより、幸い国内の感染者は低水準を保っています。しかし、海外ではワクチン接種率が高まっている国でも感染者数の再拡大や、国内においても新たな「変異株」の感染が確認される等、引き続き、労働組合として感染防止対策に努めてまいります。

昨年を振り返れば、8月の小田急線での凶悪犯罪以降、車内での犯罪が連続して発生し、走行中の車内における安全確保が社会的な課題となりました。国労東日本としては、11月に「お客さまと社員の安全確保」をJR東日本に要請しました。「利便性と安全の確保」の両立は難しい課題ですが、引き続き対策を求めてまいります。

さて、まもなく「22春闘」が始まります。昨年は、感染拡大最中での交渉となり、JR東日本は「足元の赤字、且つ中長期の経営状況からの判断」として、国鉄からJRの長い歴史の中で事実上初めてとなる定期昇給の切り下げを強行しました。

その後「2年目の黒字化は必達目標」を掲げ、今期に臨んだものの昨年の中間決算では「移動制限・人流抑制の長期化が影響し、黒字化の通期予想を一転して赤字へと下方修正」となりました。人流が大きく影響し、鉄道事業者の経営努力だけではいかんともしがたく、この先もコロナにより左右されるという現実です。

こうした中で迎える今春闘、国労統一要求については、1月29日の第192回拡大中央委員会決定されます。昨年に続き厳しい交渉が予想される中で、東日本本部としては改めて賃金実態を見つめ直すべく基本給調査を行い、多くの社員の声

となるよう働きかけていきます。具体的要求内容は現在検討中ですが、まずは「所定昇給係数4」の確保、さらには「人への投資」を求めていくととなります。

現在、JR東日本はコロナ禍により、「固定費率が高い」という鉄道事業の弱点が露呈したとして、費用構造の大転換を進めています。同時に、アフターコロナを見据えた収入構造の「変革」に向けたスピードアップを進めています。

12月15日には、「変革2027実現に向けた組織の再編について」が提案され、今後交渉を行います。先に提案された「現業機関における柔軟な働き方の実現」を含めて、本社・支社・現場での業務の「融合」「多能工化」と、私たちの働き方が大きく変わろうとしています。

職場からは、「社員のモチベーションの低下」、「経営の現状に対してあきらめ感」の中で、自己防衛や離職する社員の増加など個人解決を選択する実態も報告されています。

残念ながら、労働組合に加入している社員の割合は2割となっています。労働組合の任務は「職場の耳であり、口でもある」と言われますが、その重要性は益々高まっています。不安・不満を受け止める最初の窓口となり、労働組合の必要性を訴えましょう。

昨年の衆議院選挙は、自民党が単独で安定多数を確保する一方、野党第1党の立憲民主党が議席を減らす結果となりました。それぞれの立場から総括が深められています。1つの要因として、戦後3番目に低い投票率に留まった結果との報告もあり、先の大会での、「職場でも政治への無関心層が増大している」との報告のように、足元からの取組みも課題です。今年も、参議院選挙の年です。平和と民主主義を守る立場から、立憲野党の躍進に努力します。

結びに、冒頭申し上げた通り、感染者数は低い水準を保っていますが、新たな変異株の出現で予断を許さない状況が続きます。先の大会ではリモート会議形式を併用しての大会となりました。当面はウィズコロナの中での活動となりますが、引き続きのご協力を御願ひし、挨拶とします。

青年部定期委員会を開催

この1年を勝負の年に

東日本本部青年部は12月10日、東京地本会議室において、第30回青年部定期委員会を開催しました。

開催にあたり、和賀青年部長から「この1年間、青年部では賃金アンケートをネット上やQRコードも使いつながり取り組み、加え呼びかけ動画をホームページに乗せてアピールを行ってきた。国労では組合活動の技術継承が急務で、各地の青年部員も地本や支部で執行委員に就くなど世代交代が加速している。この1年を勝負の年、飛躍の年にしていこう」と挨拶がされました。

続いて経過報告・方針提案がされ、質疑応答・方針討論が行われました。これを受けて木村書記長から書記長集約がされ、新役員には、青年部長に戸田さん（高崎幹保）、青年副部長

に三浦さん（JR東日本クロスステーション・出向）、書記長に坪井さん（長野総合運輸区）が選出されました。最後に戸田青年部長の団結ガンバローで新たな体制

による活発な青年部運動への意思統一を行いました。

各委員の発言

●新津委員（長野総合運輸区）
「食事はニューデイズで買いなさいと言われ、賃金・一時金・手当が削られた上に、買い物でも会社に吸い取られるのかという不満が職場に多い。運転士と車掌の相互運用で、接客が嫌で運転士を希望したのにまた車掌をやられる不満も出ている。」



それでも若い人には組合へのアレルのギアや、時間を取られる事への不満が大きく、組織拡大が難しい」

●竹内委員（JESS鹿島田駅）
「適正な人員配置ができていない。業務体制が手薄な点の不満や不安が出されている。若手社員からは組合に対し、ネガティブなイメージを持っている人が多い。特に、政党に対して好き嫌いがあつて、組合活動で政党の話が出ると、敬遠される。方針から消してくれると組織拡大をやりやすい。来年は新入社員への組合加入活動に力を入れる」

●小松委員（JESS鹿島田駅）
「自分の世代だと、政治的な運動というのが何をしているのかが分からない。具体的になんか活動をしていくのが分かる」と興味が出るのでは」

●早川委員（東京総合車両センター）
「東京支部で、7月に次世代交流会を行った。東京総合車両センターで年配者が2名加入。どちらも健康不安から組合に加入。困った上での加入、職場の不安からの加入も多い。その部分で助けられる組合というアピールも必要」

●早川委員（東京総合車両センター）
「東京支部で、7月に次世代交流会を行った。東京総合車両センターで年配者が2名加入。どちらも健康不安から組合に加入。困った上での加入、職場の不安からの加入も多い。その部分で助けられる組合というアピールも必要」

●早川委員（東京総合車両センター）
「東京支部で、7月に次世代交流会を行った。東京総合車両センターで年配者が2名加入。どちらも健康不安から組合に加入。困った上での加入、職場の不安からの加入も多い。その部分で助けられる組合というアピールも必要」

●早川委員（東京総合車両センター）
「東京支部で、7月に次世代交流会を行った。東京総合車両センターで年配者が2名加入。どちらも健康不安から組合に加入。困った上での加入、職場の不安からの加入も多い。その部分で助けられる組合というアピールも必要」

収まらないコロナ禍への対応を整理する

2020年年初から始まった新型コロナウイルス感染拡大に関して、国労東日本本部は2020年7月に、感染防止対策や感染時の勤務の扱い等の申し入れを行いました。

その後、会社からさまざまな通達が出され、状況も落ち着いてきたものの、第6波も懸念されることから、今回、会社と組合窓口間で取り扱いの再確認と、何点かの要請を行いました。

◇感染の疑いがある場合

●体調不良などの場合は、私傷病、または社員申請により年休（保存休暇を含む）の扱い。

●私傷病の場合、書類の提出は省略できる。

●病気休暇の場合は無給。4日以上休業した場合の賃金補償はJR東日本グループ共済会・JRグループ健保組合から。

●感染疑いなどで会社の指示で自宅待機となる場合は「免除」（有給）。

◇感染した場合

●この場合も私傷病、または社員申請により年休（保存休暇を含む）の扱い。

●同様に、病気休暇の場合は無給。4日以上休業した場合の賃金補償はJR東日本グループ共済会・JRグループ健保組合から。

●感染経路が、業務との関係が断定された場合は、業務災害の手続きとなる。

◇家族が感染、または感染疑いの場合

●行政の指導に基づき、勤務の扱いも含め個別に対応する。

◇ワクチン接種時の取り扱い（3回目も含む）

●接種は原則として自分の時間。日勤者などで勤務時間外に接種できない場合はその時間を勤務免除する。

●感染拡大防止の観点から自宅待機の時にワクチン接種は可能。ワクチン接種日以降7日

◇本社へ要請

●感染防止対策は変化しており、職場での対応は丁寧に行うこと。

●グループ各社へも、感染防止対策についてできる限り支援援助

●感染拡大防止の観点から自宅待機の時にワクチン接種は可能。ワクチン接種日以降7日



あけましておめでとうございます
本年もよろしく
お願い致します

東日本本部	執行委員長	伊藤 隆夫
	執行副委員長	渡辺 信之
	書記長	中村賢太郎
	業務部長	武田 幸喜
	教宣部長	彦田 貴弘
	調査部長	常盤 達雄
	執行委員	中谷 慎一
	特執(貨物担当)	和賀 聖司
	(LIVIT担当)	中村 誠
	(JESS担当)	原子 清貴
	青年部長	竹内 康裕
	女性部長	戸田 良輔
	会計監査員	佐々木久恵
書記局		塩澤 富世
		矢部 雄一
		飯島 英樹
		小磯 潤一
		沓澤 萌加
東日本連絡会議	議長	森岡 英夫
関東協議会	議長	中村 誠
東北協議会	議長	森岡 英夫
自動車協議会	議長	中村 誠
職能別協議会	議長	石戸谷 満
運輸協議会	議長	木元 敏彰
運輸協議会	議長	丸山 淳一
運輸協議会	議長	兜森 秀昭
運輸協議会	議長	三留 英一
運輸協議会	議長	佐藤 浩
運輸協議会	議長	保科 誠司
工務協議会	議長	大野 広志
工務協議会	議長	出羽 正則
電気協議会	議長	清水 秀里
工作協議会	議長	後藤 寿昭
事務協議会	議長	加藤 英樹
事務協議会	議長	白井 明男
事務協議会	議長	和田 裕文
事務協議会	議長	和田 裕文

がん治療を幅広く
まとめて保障するがん保険

NEW/ アフラックの生きるためのがん保険 ALL-in

No.1 がん保険 医療保険 有給特約付

「生きるためのがん保険Days1 ALL-in」は、がんに関する治療費に加え、治療関連費も幅広くまとめて保障する保険です(所定の支払事由に該当する必要があります)。

アベニール株式会社
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

アフラック 東京第二法人営業部
東京都港区日本橋2-1-1 新橋三井ビル19F
TEL.03-3344-1429 FAX.03-3344-2658